

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	新規医薬品モダリティおよび送達技術開発の迅速化を可能にする PET イメージング/薬物動態解析プラットフォームの構築
代表機関名	国立大学法人岡山大学
研究開発代表者名	佐々木 崇了
全研究開発期間	令和3年度 ～ 令和7年度（予定）

1. 研究開発成果（公開用）

中間報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000120229.pdf>

2. 総合評価

- ・良い

【評価コメント】

核酸医薬品の PET イメージングに向けた標識法確立を進め、事業間連携により提供を受けたシーズに対しても応用可能性を示すと共に、製薬企業などとの連携協議も積極的に進めており、評価できる。核酸医薬品（mRNA-LNP）に対して、核酸自身への標識化と送達媒体である脂質ナノ粒子への標識化を並行して進めていることは、シーズ開発の目的に則した応用展開が期待できる。

ただし、核酸標識の最適化検討の改善検討による遅れが計画全体に影響していることが窺える。当初設定したマイルストーンの見直しについて AMED と調整し、今後の計画を遅延なく着実に進めること。また、課題間連携でのシーズ開発課題への対応を活かし、幅広いモダリティでの応用の可能性を検討すること。

以上